



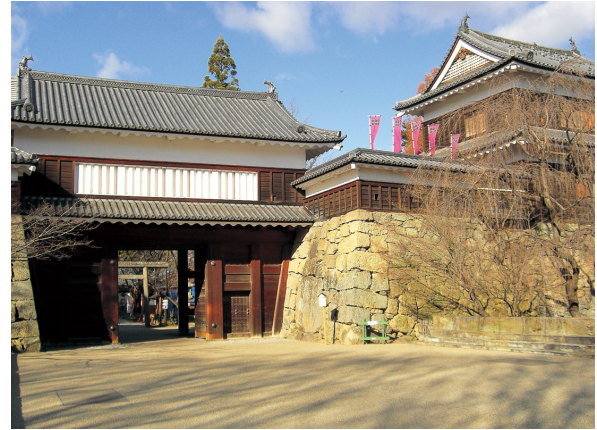
長野県第三の都市である現在の**上田市**は、平成十八年に、**旧上田市**、**旧小県郡丸子町・真田町・武石村**が合併し誕生しました。千曲川右岸の旧市街地は、戦国時代に**真田氏**が築いた**上田城**を中心とする城下町で、市街地から北に向かうと**真田氏**発祥の地とされる**真田の里**（**旧真田町**）となります。

平成二十八年は、ここ信州上田が舞台となる大河ドラマ**真田信繁**（**幸村**）が主人公となる「**真田丸**」の放送が始まることから地元は活気付いています。今回のご当地自慢は、**真田氏**にゆかりの地をご紹介します。

◆**上田城（城跡公園）**

千曲川の分流、**尼ヶ淵**に面していたので、当時は「**尼ヶ淵城**」とも呼ばれ、甲斐**真田氏**の旧臣であった**真田昌幸**（**信繁の父**）が一五八三年に築城したものです。

昌幸がこの上田城を舞台に二度も徳川軍を撃退した上田合戦は有名です。しかし、関ヶ原の合戦において**真田氏**が属



上田城

た西軍が負けたため上田城は破却され、江戸時代には上田藩の藩庁が置かれました。現在は旧二の丸が**上田城跡公園**となっており、毎年桜の時期になると多くの市民や観光客で賑わう見所となっています。この城跡公園内には**真田丸の放送**に伴う「**大河ドラマ館**」がオープンする予定となっています。

◆**真田氏本城跡**

旧真田町にある山城の跡であり、真田幸隆により築城されたと伝えられ、上田城が築城されるまで**真田氏の本城**であったと考えられています。この城は、単体の山城ではなく**真田盆地**を取り囲む**山城群**の司令部的存在であったともいわれています。

◆**山家神社**

本宮が**真田町長地区**、奥宮は**四阿山**（あずまやさん、標高二、三五四㍎、日本百名山）山頂にあり、古くからこの地域

の守り神として祀られ、千年以上の歴史をもつ神社です。
平安時代に編纂された**三大格式**（**律令の細則**）の一つである**延喜式**（えんぎしき）の**神名帳**に名を連ねるほど格式の高い神社です。



山家神社

真田氏も初代**幸隆**の代より氏神として崇めてきました。真田**信綱**（**幸隆長男**）・**昌幸**の文書等は**社宝**となっています。

◆**角間温泉（角間溪谷）**

角間温泉は上田市**真田町**角間川上流、日本森林浴の森百選の一つである**角間溪谷**の中に位置し、周囲は**角間山**国有林で、切り立った**火山岩**の断崖絶壁がそそり立ち、特に秋は**溪谷全体**が赤く染まり、**信州有数の紅葉の名所**でもありま

す。お湯は、鉄分を含んだ**炭酸泉**で地表に



角間温泉と溪谷の紅葉（下）

湧出した時点では無色ですが、空気に触れると鉄分が酸化し**茶褐色**となります。

ここは、**真田一族**の居城の近くであったことから、**真田家**の隠し湯ともいわれ、**溪谷**の双壁は**真田十勇士**の一人、**忍者**「**猿飛佐助**」の修行の場とも言い伝えられています。

◆**真田氏歴史館**

真田**幸隆**をはじめとする**真田一族**の歴史が豊富な資料で紹介されています。館内の展示は、年代に沿って配置されており、**真田氏の活躍の歴史**がわかりやすく理解することができます。

○**歴史館所在地**

長野県上田市**真田町**本原二九八四番地

一

○**アクセス**

JR上田駅・しなの鉄道上田駅よりバス利用約三十五分

自動車、上信越道上田・菅平インターチェンジより国道一四四号線で四・五キロ（約十五分）

大河ドラマの放送を機に是非一度**真田の里**を訪れてみてはいかがでしょうか。